

困ったときの知恵袋

No 152

【相談】



やまわカタログの呼び表記に「3M0.6」「4M0.75」「5M0.9」がありますが、通常の M3 M4 M5 と何がちがうのですか？

【回答】

昔のメートル並目ねじ、旧JIS規格の呼びになります。
詳しくは下の説明を見てね！



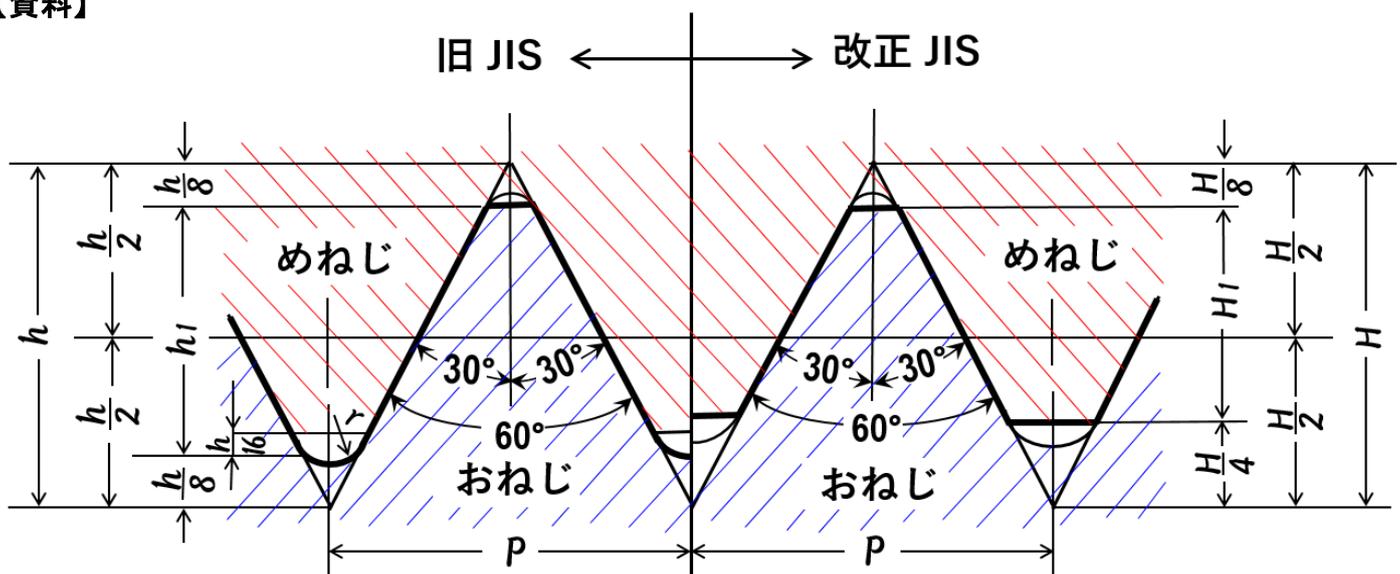
【説明】

「3M0.6」「4M0.75」「5M0.9」この3つは、1952年に制定されたJIS規格メートル並目ねじ「M3X0.6」「M4X0.75」「M5X0.9」になります。1965年、これにISOメートルねじが導入され、メートル並目ねじは、「M3X0.5」「M4X0.7」「M5X0.8」が優先になりました。まだ多くの業界で旧JIS規格のねじが使われているため廃止されなかったねじになります。1968年にJIS規格から削除されていますが、やまわでは、この新旧二つのメートル並目ねじを区別するために、旧JIS規格は「3M0.6」「4M0.75」「5M0.9」と表記方法を変えています。

もちろん寸法許容差は、当時の「M3X0.6」「M4X0.75」「M5X0.9」の規格です。また、下記【資料】のように、新旧ねじの基準山形が異なっていることは知っておくと良いと思います。



【資料】



	旧JIS	新JIS	備考
山頂の切取り高さ	$h/8$	$H/8$	旧JIS : $h = 0.8660p$ 新JIS : $H = 0.866025P$
谷底の切取り高さ	$h/8 + h/16$	$H/4$	